

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第3期実施計画中間評価）（第2部会）

部会での審議対象施策

※1 [%] ⇒ 指標の単位
 [/] ⇒ / : 数値が高いことが望ましい指標
 \ : 数値が低いことが望ましい指標
 [増減] ⇒ 増減: 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持: 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)	成果指標		成果指標の進捗状況等										施策の進捗状況						R5予算 (百万円)	第3期 実施 計画 (頁)			
						目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	第3期中間 達成度	第1期中間 (H28年度)	第1期総括 (H29年度)	第2期中間 (R1年度)	第2期総括 (R3年度)	仮判定 (R5年度)			第3期中間 (R5年度)		
第2部会 まちづくり部会	1-1-1	災害・危機事象に備える 対策の推進 (災害発生時の被害や生活への影響を減らす)	●「かわさき強靱化計画」や「地域防災計画」等の各種防災計画に基づいたハード・ソフトの両面からの防災・減災対策の推進 ●全職員が一丸となり迅速な意思決定や機動的な災害対応を可能とする危機管理体制の充実・強化 ●各区と地域が平時からのつながりを活かして、地域の実情や課題等に対応したリアリティのある訓練の実施と検証等を踏まえた地域完結型の防災をめざす取組の推進 ●新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営など感染症と自然災害の複合化対策の推進 ●あらゆる危機事象に備え、自助・共助・公助がそれぞれの力を高めつつ、強みとともに弱みを共有し、補い合う関係づくり	(1)	避難所運営会議を開催している避難所の割合	目標値				71	80	90	%	↗	a	a	a									
					実績値	66.9	68	68.2	77.3	88		増減		a	a	a										
				(2)	避難所を知っている人の割合	目標値				-	55.9	60	%	↗	-	b	b									
					実績値	39.5	39.1	49.5	-	44.3		増減		-	b	b										
				(3)	家庭内備蓄を行っている人の割合	目標値					63.7	65	%	↗	-	b	b									
					実績値	56.9	52	62.5		63.2		増減		-	b	b										
				(4)	震災時及び風水害時に自分がとるべき避難行動を把握している人の割合	目標値					56.4	60	%	↗	-	c	c									
					実績値	第3期から設定	第3期から設定	52.9	-	47.3		増減														
	1-1-2	地域の主体的な防災まちづくりの推進 (地域の特性に応じた地域防災力向上により、延焼等による被害を減らす)	●不燃化重点対策地区における建築物の不燃化の促進 ●火災延焼リスクの高い地区における減災対策に向けた地域住民との協働による防災まちづくりの推進	(1)	重点的に取り組む密集市街地※における大規模地震時の想定焼失棟数の削減割合	目標値				33.2	33.8	35	%	↗	a	a	a									
					実績値	20	16.8	31.5	33.7	34.7		増減		a	a	a										
				(2)	火災延焼リスクの高い地区における大規模地震時の建物倒壊による道路閉塞の確率	目標値				39.3	38.5	37	%	↘	a	a	a									
					実績値	第3期から設定	43	38.4	37.6	37.4		増減		a	a	a										
	1-1-3	まち全体の総合的な耐震化の推進 (地震発生時の建築物等の倒壊による被害を減らす)	●「耐震改修促進計画」に基づく特定建築物や住宅の耐震化の促進 ●大規模盛土造成地における震災被害軽減に向けた取組や崖地における防災工事の促進などによる、宅地の自然災害対策の推進 ●「橋梁耐震化計画」に基づく計画的な橋りょう耐震対策の推進	(1)	特定建築物の耐震化率	目標値				95.9	96.3	97	%	↗	b	b	b									
					実績値	92	92.8	95.2	95.77	96.2		増減		b	b	b										
				(2)	住宅の耐震化率	目標値				96.5	97	98	%	↗	b	b	b									
					実績値	92	92.7	95.6	96.3	96.6		増減		b	b	b										
				(3)	橋りょうの耐震化率	目標値				66	70	79	%	↗	a	b	b									
					実績値	47	51	61	66	67		増減		a	b	b										
	1-1-4	消防力の総合的な強化 (消防力を強化することで、さまざまな災害から市民を守る)	●防災活動拠点、車両、資器材等の整備と訓練や研修の効果的な実践による消防体制の充実強化 ●消防団活動の充実強化や町内会等との連携による地域防災力の向上	(1)	出火率	目標値				2.38	2.38	2.18	件	↘	a	a	a									
					実績値	2.58	2.45	2.19	2.2	2.28		増減		a	a	a										
				(2)	消防団員数の充足率	目標値				91	91	93	%	↗	c	c	c									
					実績値	87.8	86.5	81.2	79.3	79.9		増減		c	c	c										
	1-1-5	安全・安心な暮らしを守る 河川整備 (水害から市民の生命、財産を守る)	●激甚化・頻発化する水害に適応した河川改修等の計画的な整備推進 ●ハード対策とソフト対策とが一体となった取組の推進	(1)	時間雨量50mm対応の河川改修率	目標値				91	91	91	%	↗	b	b	b									
					実績値	81	81	81.1	81	90		増減		b	b	b										
				(2)	五反田川放水路の供用により洪水による氾濫から守られる面積の割合	目標値				100	100	100	%	↗	b	b	b									
					実績値	50	-	50	50	77		増減		b	b	b										
				(3)	河川施設の機能を保全するための緊急対策工事実施率	目標値				47	52	87	%	↗	a	a	a									
					実績値	第3期から設定	第3期から設定	47	47	52		増減		a	a	a										
1-2-1	防犯対策の推進 (市内で発生する犯罪を未然に防ぐ地域づくりを進める)	●防犯設備の設置の推進や路上喫煙等の防止による安全・安心な生活環境の整備 ●多様な主体と連携した防犯対策による地域の防犯力の強化 ●犯罪被害者等に寄り添った生活支援を中心とした取組の推進 ●消費者被害の未然防止に向けた関係機関との連携による取組の推進	(1)	空き巣等の刑法犯認知件数	目標値				8,500	8,500	8,500	件	↘	a	a	a										
				実績値	10,685	9,177	6,307	5,918	7,653		増減		a	a	a											
			(2)	路上喫煙防止重点区域通行量調査で確認された喫煙者数	目標値				15	15	15	人	↘	a	a	a										
				実績値	42	30	15	12	3		増減		a	a	a											
			(3)	消費生活相談の年度内完了率	目標値				99	99	99	%	↗	a	a	a										
				実績値	98.2	99.5	99.7	99.5	99		維持		a	a	a											
1-2-2	交通安全対策の推進 (市内の交通事故を減らす)	●特に事故構成率の高い高齢者と自転車利用者を含めた各世代に対する、交通事故防止に向けた交通安全教育の推進 ●デジタル化に即した交通安全啓発の推進 ●歩道、交差点及び道路安全施設の継続的な整備 ●更なる放置自転車の削減に向けた効率的・効果的な対策の推進 ●タワの買い物利用者への放置対策に向けて、放置の状況を考慮した、重点的な撤去活動の推進	(1)	交通事故発生件数	目標値				2,878	2,878	2,878	件	↘	a	a	a										
				実績値	3,696	3,218	2,878	2,592	2,753		増減		a	a	a											
			(2)	放置自転車の台数	目標値				1,900	1,800	1,600	台	↘	a	a	a										
				実績値	3,367	2,935	2,011	1,376	1,300		増減		a	a	a											

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧(第3期実施計画中間評価)(第2部会)

部会での審議対象施策

※1 [%] ⇒ 指標の単位
[/] ⇒ / : 数値が高いことが望ましい指標
 \ : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒ 増減 : 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持 : 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)	成果指標		成果指標の進捗状況等										施策の進捗状況							R5予算 (百万円)	第3期 実施 計画 (円)																																								
						目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	第3期中間 達成度	第1期中間 (H28年度)	第1期総括 (H29年度)	第2期中間 (R1年度)	第2期総括 (R3年度)	仮判定 (R5年度)	第3期中間 (R5年度)																																										
第2部会 (まちづくり部会)	1-2-3	ユニバーサルデザインの まちづくりの推進 (誰もが訪れやすく暮らし やすい「ユニバーサルデ ザインのまち」にする)	●ユニバーサルデザインのまちづくりやソフト・ハードの両面から のバリアフリーの取組の推進 ●鉄道駅におけるホームドアの整備促進など、誰もが安全・安心 に利用できる交通環境の形成に向けた取組の推進	(1)	バリアフリー化すべき重要な特定の道路の整備割合	目標値					100	100	100	%	↗ 増減	b	b	b	C	B	A	A	A	A	1,306	169																																						
					実績値	35	58	96	98.8	98.8																																																						
				(2)	市内法人タクシーに占めるユニバーサルデザインタクシーの割 合	目標値				14	18	25	%	↗ 増減	a	a	a																																															
					実績値	2.5	2.8	14.3	19	19																																																						
	(3)	誰もが安全・安心に公共施設を利用できると感じる人の割合	目標値				-	50	50	%	↗ 維持	-	a	a																																																		
			実績値	49.1	46.1	46.8	-	51.09																																																								
	(4)	駅利用者10万人以上の駅等におけるホームドア等の累計整備 番線数	目標値				24	30	36	番線	↗ 増減	b	b	b																																																		
			実績値	第3期から設定	第3期から設定	20	20	26																																																								
	1-2-4	地域の生活基盤となる道 路等の維持・管理 (誰もが安全・快適に道路 を利用できる)	●予防保全の考え方による計画的な維持管理の推進 ●持続可能で効率的な維持管理による施設等の長寿命化の推進 ●道水路の効率的な管理や災害復旧等に寄与する道水路台帳 平面図等管理・閲覧システムの機能向上の推進	(1)	道路施設の健全度	目標値				96	97	98	%	↗ 増減					a	a	a	B	B	B	A	A																													A	A	9,535	172						
						実績値	73	82	92	96	97																																																					
				(2)	地籍調査等で得た道路等の座標値を道水路台帳平面図等管 理・閲覧システムに搭載した累計点数	目標値				14,500	29,000	58,000	点	↗ 増減				a	a	a																																												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	19,000	30,870																																																					
				(3)	不法占拠解消の累計件数	目標値				730	810	970	件	↗ 増減	b	b	b																																															
						実績値	90	277	523	617	657																																																					
				(4)	不法占拠者への指導の年間実施回数	目標値				500	500	500	回	↗ 増減	a	a	a																																															
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	264	537	500																																																					
1-3-1	安定給水の確保と安全性 の向上 (安全でおいしい水を安定 的に供給する)	●老朽化した水道施設・管路の更新及び耐震化の推進 ●大規模災害に備えた応急給水拠点の整備及び更なる利便性の 向上の推進 ●良質で安全な水の安定供給に向けた水質管理の徹底 ●主要な工業用水道施設の耐震化・浸水対策の推進及び長期的 需要動向を踏まえた施設・管路の将来構想の検討	(1)	重要な管路の耐震化率	目標値				100	100	100	%	↗ 増減	b	b	b	B					A	A	A	A	A																													19,265	176								
					実績値	70.6	79.6	93.1	97.9	98.2																																																						
			(2)	管路の耐震化率	目標値				40.1	41.7	44.9	%	↗ 増減	a	a	a																																																
					実績値	第2期から設定	30.2	36.7	40.8	42.6																																																						
			(3)	災害時の確保水量	目標値				16.5	16.5	16.6	万㎡	↗ 増減	a	a	a																																																
					実績値	2.8	10.7	16.4	16.5	16.5																																																						
			(4)	開設不要型応急給水拠点の整備率	目標値				84	100	100	%	↗ 増減	a	b	b																																																
					実績値	7.6	17.4	55.2	85.1	98.9																																																						
			(5)	工業用水道の浄水場等連絡管整備率	目標値				-	-	100	%	↗ 増減	-	-	-																																																
					実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	-	-																																																						

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧(第3期実施計画中間評価)(第2部会)

部会での審議対象施策

※1 [%] ⇒指標の単位
[↗] ⇒ ↗ : 数値が高いことが望ましい指標
↘ : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒増減: 現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持: 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)	成果指標	成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況						R5予算 (百万円)	第3期 実施 計画 (円)	
					目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	第3期中間 達成度	第1期中間 (H28年度)	第1期総括 (H29年度)	第2期中間 (R1年度)	第2期総括 (R3年度)	仮判定 (R5年度)	第3期中間 (R5年度)				
第2部会 まちづくり部会	1-3-2	下水道による良好な循環機能の形成 (地域の安全と環境を守り、きれいな水を川崎の川と海に返す)	●下水道の管きよ・施設の地震対策の推進 ●重点化地区や令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえた局地的な浸水対策等の推進 ●水処理センターの高度処理化の推進 ●下水道法施行令への対応に向けた合流式下水道の改善 ●下水道の管きよ・施設の老朽化対策の推進 ●下水道事業における地球温暖化対策の推進	(1)	重要な管きよの耐震化率(市内全域)	目標値				87.7	88.4	89.7	%	↗	a	a	a	A	A	B	A	A	A	20,842	180
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	86.3	87.7	88.4	増減															
				(2)	重要な管きよの耐震化率(川崎駅以南の地域)	目標値				100	100	100	%	↗	a	a	a								
				実績値	33.5	65.1	99.2	100	100	増減															
				(3)	重要な管きよの耐震化率(川崎駅以北の地域)	目標値				14.3	19	28.4	%	↗	a	a	a								
				実績値	第2期から設定	—	4.6	14.3	19	増減															
				(4)	避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きよの耐震化率	目標値				71.9	77.6	89	%	↗	a	a	a								
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	59.7	71.9	77.6	増減															
				(5)	浸水対策実施率(丸子、宮崎、大師河原、馬絹、久末地区)	目標値				100	100	100	%	↗	a	a	a								
				実績値	22.6	57.6	100	100	100	増減															
				(6)	浸水対策実施率(三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区)	目標値				29.3	32.1	40.8	%	↗	b	a	a								
実績値	第2期から設定	—	24.3	29	32.1	増減																			
(7)	排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数【令和元年東日本台風当日の床上浸水面積に対する解消率(想定)】	目標値				6[65.2%]	7[65.2%]	7[65.2%]	対策	↗	a	a	a												
実績値	第3期から設定	第3期から設定	5[64.4%]	6[65.2%]	7[65.2%]	増減																			
(8)	合流式下水道改善率(雨天時に川や海に処理しきれない下水が放流されることへの対策)	目標値				73.5	100	100	%	↗	a	b	b												
実績値	68.5	68.5	73.5	73.5	73.5	増減																			
(9)	高度処理普及率	目標値				59.3	59.3	100	%	↗	a	a	a												
実績値	第3期から設定		27	34.5	59.3	59.3	増減																		
(10)	管きよ再整備率(管きよ再整備重点地域)	目標値				36.9	37.7	39.8	%	↗	a	a	a												
実績値	第3期から設定	第3期から設定	35.3	36.9	37.7	増減																			
(11)	温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)	目標値				-22.7	-24.2	-27.7	%	↗	a	a	a												
実績値	第3期から設定	第3期から設定	-21.6	-22.7	-24.2	増減																			
3-1-1	地球環境の保全に向けた取組の推進 (地球温暖化による市民生活などへの影響を減らす)	●脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」等を踏まえた、新たな「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」に基づく、脱炭素社会の実現に向けた取組の推進 ●地球温暖化に起因する異常気象等に対応する、気候変動適応策の取組の推進	(1)	市域の温室効果ガス排出量の削減割合【1990年度比】	目標値				-22.1	-23.4	-26	%	↗	a	a	a	B	B	B	B	A	A	2,182	304	
			実績値	-13.8	-16.8	-23.6	-27.6	-25.6	増減																
			(2)	市域の温室効果ガス排出量の削減割合【2013年度比】	目標値				-8.5	-10	-13.1	%	↗	a	a	a									
			実績値	第3期から設定	第3期から設定	-10.2	-15.6	-12.6	増減																
			(3)	市役所の温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)	目標値				-10.9	-13.2	-18.5	%	↗	c	—	R6.7頃判明									
			実績値	第3期から設定	第3期から設定	-9.6	-9	R6.7頃判明	増減																
			(4)	市域の再生可能エネルギー導入量	目標値				21	21.6	24.3	万kW	↗	a	a	a									
			実績値	第3期から設定	第3期から設定	20.5	21.2	21.7	増減																
			(5)	市民や市内の事業者による環境に配慮した取組(省エネなど)が進んでいると思う市民の割合	目標値				—	29	30	%	↗	—	a	a									
			実績値	24.9	27.7	25.8	—	30	増減																

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧(第3期実施計画中間評価)(第2部会)

部会での審議対象施策

※1 [%] ⇒ 指標の単位
[/] ⇒ / : 数値が高いことが望ましい指標
 \ : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒ 増減 : 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持 : 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)	成果指標	成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況						R5予算 (百万円)	第3期 実績 計画 (円)												
					目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	第3期中間 達成度	第1期中間 (H28年度)	第1期総括 (H29年度)	第2期中間 (R1年度)	第2期総括 (R3年度)	仮判定 (R5年度)	第3期中間 (R5年度)															
第2部会 まちづくり部会	3-2-1	地域環境対策の推進 (空気や水などの地域環境を守る)	●環境基準等の達成維持に向けた、環境関連法や市条例に基づく取組の着実な実施 ●更なる環境負荷の低減と環境に関する市民実感の向上をめざした「大気・水環境計画」に基づく、多様な主体と連携した取組や事業者の自主的な取組等の推進	(1)	光化学スモッグ注意報の発令日数	目標値				0	0	0	日	↘ 増減	b	b	b	A	B	C	B	A	A	414	310											
				実績値	6	4	2	3	2																											
				(2)	光化学オキシダント環境改善評価指標値	目標値				0.0105	0.0105	0.0105	ppm	↘ 維持	a	a	a																			
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	0.0106	0.0096	0.0097																											
				(3)	二酸化窒素の環境基準を達成した測定局の割合【0.06ppmを達成した割合】	目標値				100	100	100	%	↗ 増減	a	a	a																			
				実績値	94.4	100	100	100	100																											
	3-2-2	持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進 (廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進める)	●市民・事業者・行政の協働によるごみの減量化・資源化の推進 ●安定性・安全性を確保した効率的・効果的な廃棄物処理事業の推進 ●脱炭素化に向けたプラスチック資源循環の推進	(2)	ごみ焼却量(1年間)	目標値				35.26	34.5	33	万t	↘ 増減	a	a	a	A	A	A	B	A	A	30,281	313											
				実績値	37.1	36.6	35.8	34.01	32.6																											
				(3)	プラスチック製容器包装の分別率	目標値				39.7	40.6	45	%	↗ 増減	a	b	b																			
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	37.8	40.5	40																											
				3-3-1	協働の取組による緑の創出と育成 (多様な主体との協働、連携により緑を育む)	●多様な主体との協働によるグリーンコミュニティ形成に向けた取組の一層の推進 ●緑化フェアを契機とした多様なみどりを活用した安心で心豊かな暮らしの実現に向けた取組の推進	(1)	緑のボランティア活動の累計か所数	目標値				2,427	2,435	2,450	か所	↗ 増減									c	c	c	B	B	B	B	C	B	821	319
							実績値	2,355	2,321	2,304	2,291	2,291																								
	(2)	市民150万本植樹運動による累計植樹本数	目標値							127	138	150	万本	↗ 増減	b	b	b																			
	3-3-2	魅力ある公園緑地等の整備 (豊かな市民生活を実現するため、都市に緑と水のオープンスペースを創出する)	●公園緑地の立地特性や地域ニーズ等を踏まえた、都市の価値を高め、魅力ある公園緑地づくりの推進 ●まちの賑わいの向上に向けた、民間活力の導入などによる大規模公園緑地の整備推進 ●予防保全型の維持管理など公園施設の適切な維持管理の推進 ●公園緑地の柔軟かつ多様な利活用や持続可能な管理運営に向けたパークマネジメントの推進	(2)	緑の活動に取り組んでみたい、又は取り組んだことのある人の割合	目標値				-	71	75	%	↗ 増減	-	c	c	C	C	B	B	B	B	5,891	323											
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	67.4	-	62																											
	3-3-3	多摩丘陵の保全 (市域に残された緑地、里山を再生・保全し、次世代に継承する)	●さまざまな制度を活用した緑地保全の取組の推進 ●市民等による効果的な緑地・里山の保全や、保全緑地の多様な利活用の一層の推進	(1)	緑地保全面積	目標値				5	5	5	m ² /人	↗ 維持	b	b	b	A	B	B	B	B	B	844	328											
				実績値	5	5	4.9	4.93	4.93																											
				(2)	企業・教育機関等の参加による保全活動累計か所数	目標値				-	64	65	%	↗ 増減	-	b	b																			
実績値				第2期から設定	61.4	63.4	-	61.4																												
(3)				市民が利用できる緑地の累計か所数	目標値				285	290	300	ha	↗ 増減	b	b	b																				
実績値				232	241	251	253	253																												

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第3期実施計画中間評価）（第2部会）

部会での審議対象施策

※1 [%] ⇒ 指標の単位
[/] ⇒ / : 数値が高いことが望ましい指標
 \ : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒ 増減: 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持: 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)	成果指標	成果指標の進捗状況等											施策の進捗状況							R5予算 (百万円)	第3期 実績 計画 (頁)	
					目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	第3期中間 達成度	第1期中間 (H28年度)	第1期総括 (H29年度)	第2期中間 (R1年度)	第2期総括 (R3年度)	仮判定 (R5年度)	第3期中間 (R5年度)				
第2部会（まちづくり部会）	3-3-4	農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進 (多面的な役割を果たしている貴重な農地を市民とともに継承する)	●多面的な機能を有する都市農地の保全・活用に向けた取組の推進 ●農地の利用意向把握や利用権設定等の促進による農地の利用集積・集約化の推進 ●多様な主体との連携による、市民が「農」に触れる場の提供促進 ●都市農業に対する理解の促進に向けた効果的なPRの実施	(1)	生産緑地の年間新規指定面積	目標値 実績値	 12,000	 10,528	 14,260	 17,500	 8,220	 8	m ²	↗ 維持	a	c	c								
				(2)	防災農地の年間新規登録数	目標値 実績値	 7	 11	 17	 18	 19	 8	か所	↗ 増減	a	a	a								
				(3)	市民農園等の累計面積	目標値 実績値	 73,790	 98,961	 85,786	 87,117	 91,978	 108,000	m ²	↗ 増減	b	b	b	B	B	A	A	B	B	49	331
				(4)	利用権設定等の集積面積	目標値 実績値	 第3期から設定	 第3期から設定	 8.7	 11.5	 11.7	 10	ha	↗ 増減	a	a	a								
				(5)	都市農業に対する関心度	目標値 実績値	 第3期から設定	 第3期から設定	 54.8	 -	 54.4	 57	%	↗ 増減	-	c	c								
	3-3-5	多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進 (多くの市民が「憩い」「遊び」「学ぶ」多摩川の魅力を高める)	●民間活力の導入など多摩川の利活用による賑わいの創出に向けた取組の推進 ●市民との協働や流域自治体等との連携による多摩川の魅力向上に向けた取組の推進	(1)	多摩川を利用したことがあり、魅力を感じる人の割合	目標値 実績値	 37.7	 40.1	 43.5	 -	 38.47	 43	%	↗ 増減	-	b	b								
				(2)	渡し場イベントの参加者数	目標値 実績値	 第2期から設定	 2,400	 500	 2,000	 800	 6,000	人	↗ 増減	d	d	d	A	B	B	B	B	B	238	334
				(3)	多摩川におけるイベントの参加者満足度	目標値 実績値	 第3期から設定	 第3期から設定	 87.4	 93	 確認中	 91	%	↗ 増減	a	-	確認中								
	4-5-1	魅力にあふれた広域拠点の形成 (川崎・武蔵小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める)	●川崎駅周辺地区における川崎の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備の推進と賑わいの創出等に向けた取組の推進 ●小杉駅周辺地区におけるコンパクトに集積した都市機能の誘導と賑わい等の創出、安全性・利便性の向上に向けた交通基盤の強化の推進 ●新百合ヶ丘駅周辺地区における周辺環境等の変化を見据えた土地利用転換の誘導と交通結節機能の強化に向けた取組の推進	(1)	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅周辺人口	目標値 実績値	 12.6	 13.1	 14.1	 14.2	 14.4	 14.3	万人	↗ 増減	a	a	a								
				(2)	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅平均乗車人員	目標値 実績値	 52.4	 56.4	 41.9	 43.8	 47.8	 59.1	万人/日	↗ 増減	c	c	c	A	A	A	A	B	A	1,957	396
				(3)	拠点駅周辺をさまざまな施設が充実した回遊性の高いまちと思う人の割合	目標値 実績値	 第3期から設定	 第3期から設定	 67.7	 -	 68.4	 68.9	%	↗ 増減	-	b	b								
	4-5-2	個性を活かした地域生活拠点等の整備 (新川崎・鹿島田・溝口、鷺沼・宮前平、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺の魅力を高める)	●利便性が高く多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積や交通結節機能の強化などをめざした市街地再開発事業等による地域生活拠点の整備 ●地域特性に応じた多様な主体との連携による鉄道沿線まちづくりの推進と身近な駅周辺等の整備	(1)	地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅周辺人口	目標値 実績値	 17.5	 18	 19.2	 19.3	 19.4	 19.6	万人	↗ 増減	a	a	a								
				(2)	地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平、登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅平均乗車人員	目標値 実績値	 47.3	 48.3	 35.7	 38.8	 42.3	 50	万人/日	↗ 増減	c	c	c	A	A	A	A	B	A	4,640	400
				(3)	拠点駅周辺をさまざまな施設が充実した回遊性の高いまちと思う人の割合	目標値 実績値	 第3期から設定	 第3期から設定	 48.6	 -	 51.2	 49.3	%	↗ 増減	-	a	a								
	4-6-1	安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進 (都市環境と調和した暮らしやすい魅力的な都市空間を創出する)	●激甚化・頻発化する自然災害の発生や少子高齢化の進展など社会環境の変化を踏まえた持続可能なまちづくりの推進 ●脱炭素社会や持続可能なまちの実現に向けた、良好な市街地環境の形成や環境に配慮した建築物の普及促進	(1)	新築される建築物のうち、環境に配慮した建築物の割合	目標値 実績値	 17	 21	 19.3	 22.2	 22.1	 23	%	↗ 増減	a	a	a	B	B	A	A	A	A	3,342	405
				(2)	市街地開発事業等の制度を活用した取組の累積件数	目標値 実績値	 6	 6	 11	 12	 12	 13	件	↗ 増減	a	a	a								
	4-6-2	地域の主体的な街なみ形成の推進 (機能的で美しく、住んでいてこころよい街なみを創出する)	●景観をめぐる社会環境の変化に対応した個性と魅力あふれる良好な都市景観形成の推進 ●良好な住環境形成に向けた住民発意の地区まちづくり活動への支援の推進	(1)	「景観計画」等に位置づけられる景観形成基準が遵守されている割合	目標値 実績値	 15.5	 20.1	 28.6	 33.4	 35.2	 41	%	↗ 増減	b	b	b	A	A	A	A	A	A	9	408
				(2)	「地区まちづくり育成条例」に基づく登録・認定団体の累計件数	目標値 実績値	 12	 17	 28	 26	 28	 32	件	↗ 増減	a	a	a								
	4-7-1	広域的な交通網の整備 (首都圏における円滑な交通網を整える)	●鉄道事業者や周辺自治体等との連携による鉄道ネットワークの形成に向けた取組の推進 ●本市の都市機能の強化などに資する広域的な道路ネットワークの形成に向けた取組の推進	(1)	都市拠点から羽田空港までの平均所要時間	目標値 実績値	 44	 45	 45	 -	 -	 35※	分	↘ 増減	-	-	-	B	B	A	A	A	A	1,303	411
				(2)	JR南武線の最遅遅時間帯における遅延率	目標値 実績値	 195	 188	 120	 130	 R6.7頃判明	 180	%	↘ 増減	a	-	R6.7頃判明								

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧(第3期実施計画中間評価)(第2部会)

部会での審議対象施策

※1 [%] ⇒指標の単位
[^] ⇒ ^ : 数値が高いことが望ましい指標
 v : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒増減: 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持: 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)	成果指標		成果指標の進捗状況等											施策の進捗状況							R5予算 (百万円)	第3期 実施 計画 (頁)
						目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	第3期中間 達成度	第1期中間 (H28年度)	第1期総括 (H29年度)	第2期中間 (R1年度)	第2期総括 (R3年度)	仮判定 (R5年度)	第3期中間 (R5年度)			
第2部会(まちづくり部会)	4-7-2	市域の交通網の整備 (自動車での市内交通を円滑化する)	●地域特性を踏まえた交通環境の改善や事業効果の早期発現に資する効率的・効果的な幹線道路等の整備の推進 ●今後の社会変容等も踏まえた都市交通の円滑化や地域分断の解消、地域資源を活かした沿線まちづくりと連携した連続立体交差事業の計画的な推進	(1)	都市計画道路進捗率	目標値 実績値	 68	 -	 69	69	70	71	% 増減	a	c	c									
				(2)	市内幹線道路における混雑時(朝タピーク時)の平均走行速度	目標値 実績値	 16.9	 -	 15.9	-	-	17.8	km/h 増減	-	-	-	B	B	B	B	C	B		9,285	414
				(3)	JR南武線連続立体交差事業に係る用地買収の進捗率	目標値 実績値	 第3期から設定	 第3期から設定	 0	-	-	25	% 増減	-	-	-									
	4-7-3	身近な交通環境の整備 (地域の人々が生活しやすい交通環境を整える)	●効率的・効果的な路線バスネットワークの形成に向けた取組の推進 ●多様な主体等との連携や新技術・新制度を含むさまざまな運行手法の活用によるコミュニティ交通の導入促進等に向けた取組の推進 ●安全・安心でまちの魅力向上等に寄与する自転車活用等の推進	(1)	市内全路線バスの乗車人員数(1日平均)	目標値 実績値	 31,6045	 32.6	 32.9	33.2	33.5	34	万人 増減	a	b	b									
				(2)	コミュニティ交通の利用者総数	目標値 実績値	 第3期から設定	 第3期から設定	 10.9	11.8	12	12.5	万人 増減	c	b	b	B	B	A	A	B	A		343	418
				(3)	自転車に関わる交通事故件数	目標値 実績値	 1,097	 899	 947	960	940	900	件 増減	a	b	b									
	4-7-4	市バスの輸送サービスの充実 (安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する)	●利用実態を踏まえた事業規模への適正化に向けた取組の推進 ●輸送安全性の確保やお客様サービス、移動空間の快適化に向けた取組の推進	(1)	有責事故発生件数(走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数)	目標値 実績値	 0.29	 0.38	 0.4	0.28	0.28	0.28	件 維持	b	a	a									
				(2)	お客様満足度	目標値 実績値	 55.4	 59.2	 50.4	69	70	72	% 増減	c	b	b	B	B	B	B	A	B		5,082	422
				(3)	市バスの乗車人数(1日平均)	目標値 実績値	 12.79	 13.09	 12.9	11.5	11.5	11.5	万人 増減	a	a	a									

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

参考：内部評価の考え方

- 1 施策評価については、成果指標の達成度に応じて点数をつけており、施策内の各成果指標の達成度を平均して、施策の進捗状況を計算し、A、B、C、Dを「仮判定」する。
- 2 「仮判定」の結果やその他の定性的な成果等を総合的に踏まえて、各担当局で達成度を「判定」している。

指標の達成度と施策の進捗状況区分

指標 達成度	区分の説明
a	目標値以上
b	1期実施計画の現状値(又は個別設定値)以上～目標値未満
c	目標達成率60%以上～1期実施計画の現状値(又は個別設定値)未満
d	目標達成率60%未満



施策 進捗状況区分	区分の説明
A. 順調に推移している	目標を達成している
B. 一定の進捗がある	一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している)
C. 進捗が遅れている	進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)
D. 進捗は大幅に遅れている	進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)

仮判定の計算例

	令和5年度						施策達成度仮判定
	a	b	c	d	合計	平均点	
	3点	2点	1点	0点			
指標の達成度の数	2	0	1	0	3	2.333	B
指標の点数	6	0	1	0	7		

施策の達成度	指標の達成度の平均点
A 順調に推移している	3以下～2.5以上
B 一定の進捗がある	2.5未満～1.5以上
C 進捗が遅れている	1.5未満～0.5以上
D 進捗は大幅に遅れている	0.5未満